



国道158号からみた当時の旧木造体育館



第40号

●発行●

梓川高校同窓会

●編集●

同窓会広報部

●印刷●

電算印刷(株)

●連絡先●

梓川高校

☎0263-92-2119

同窓会活動の
活発化について

第16回 卒

梓川高等学校同窓会長

小林 静夫

現在、数支部を除き支部活動が活発に行われていないのが現状であります。支部の中には、支部の形態をなしていないと嘆く支部長さんもいらっしゃるようです。支部活動の活発化は、同窓会全体の活発化に繋がっていくと信じています。そのためにも本部では今までより各支部との連携を密にとり、各支部が抱えている諸問題を洗い出し、助言等を行うと共に各支部に出向き、支部長さんの協力を得ながら同窓生の意見要望を汲み取り協力依頼をお願いし、各支部の運営が軌道にのせることができればと思っています。また、百周年記念事業等の大型事業がある時は、活発化も計られますが、それを継続させていく事は難しいのが現実であります。言う事はたやすいが実行するのは難しいのが現実です。道のり遠くても第一歩を踏みださなければ何も始まりません。同窓生の皆様のおひとりおひとりの御協力をお願いします。



梓川高校近況

校長 腰原 英徹

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

「梓川高校を支える会」へのご支援、学習環境整備や強歩大会等学校行事に対するご協力、心より感謝申し上げます。

生徒たちは静かな落ち着いた環境の中で、学校生活を送っております。昨年度来、松本市議会議員との交流、波田中学校3年生とのKAWAトークなど、特色ある活動も行っております。松本市議会議員との交流では、市議の皆さんに来校いただき、グループディスカッションを行いました。生徒が地域の課題について問題提起を行うなどして、市政上、市民生活上の問題について活発な意見交換が行われました。また、波田中学校とのKAWAトークでは本校生徒会役員が波田中学校を訪れ、進路体験談、総合的な探究のプレゼンテーションに加え、波田中3年生全員とグループ別に話し合い、親交を深めました。

部活動では、少子化が進む中、多くの学校で廃止、縮小、

合同チームによる出場といった状況が生まれています。本校もこうした流れと無縁ではいられませんが、それでも多くのクラブで生徒たちは日々の練習を楽しみ、汗を流しています。今年度はテニス、弓道、陸上部が県大会出場。とりわけ陸上部のハンマー投げではインターハイに女子、北信越大会には男女アベック出場をはたしています。同窓会からもご支援を賜り、生徒たちの心の支えとなっております。重ねて感謝申し上げます。先行きが不透明な時代、新たなものを生み出す力、一つの正解ではなく、最適な解き、導き出す力が求められています。机上の勉強だけではなく、様々な人々と交流し、地域に出て、体験的な学びを通して人間力を高め、発信力を磨き、学校行事等様々な場面で主体性を発揮することで、地域や社会を担う人材に育ってもらいたいと考えております。

終わりに、同窓会の皆様のご健勝とご発展をお祈りしますとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

寄稿文

卒業六十年を
振り返って昭和三十八年三月卒業
普通科三年C組

川島 範雄

私は昭和十九年東京中野区沼袋で生を受け戦火を逃れ家族は親戚とともに信州に疎開して青春時代を過ごしました。

クラス担任は、丸山房人先生、クラブ活動は歴史研究部、テーマは「野麦街道の果した役割」一街道沿いで昔からの生活習慣が残っている県境の川浦集落で調査を行い、結果を総合研究発表会で報告した事が鮮明に記憶に残っています。

東京オリンピックを一年後に控え、世の中が大きく変化した昭和三十八年 同年、舟木一夫のデビュー曲『高校三年生』が大ヒットした年の春、校歌と教職

員、在校生に送られた卒業式から早、六十年が過ぎました。

松商学園短期大学を経て東京日本橋の紙商社、(資本金一億円、年商八十億円)に入社しました。平成元年取締役就任後、常務、専務を経て社長に就任、令和二年まで二十年間社長として会社経営をしてきましたが私の年齢を考えると、最大の課題は後継者問題でした。

その間、他社との合併やM&A、等の働きかけがありました。私は株主にはより多くの配当、社員には今後の生活面、販売先、仕入れ先、メーカー等に迷惑をかけない事が出来ると判断し、会社を閉じる決断をしました。

精算までの期間を約五年間として、予定通り令和二年開催の株主総会で解散が承認されました。その後の手続を経て株主には出資金の数倍の配当、社員には特別退職金と生活面を考慮して、一年分相当額の手当を払い清算が完了しました。この期間は新型コロナウイルスが猛威を振るって数多くの規制を受けまし

た。

令和二年九月会社から帰宅すると妻がリビングで倒れていて発見が遅れた為、重度の脳梗塞と診断されました。言葉を失い半身不随となり一年を経過し姉が住んでいる松本に転院しました。

信州に移って六か月後の令和四年三月妻は静かに旅立ちました。闘病期間中はコロナ過のため面会制限等を受け看病が出来なかった事が心残りで残念でした。

昨年八月牧田勝明君より数人の有志が集まる会に誘われ数十年振りにお会いしました。高校時代の面影のこる人、誰か駆らない人次第に思い出して話し込み時間が経つのを忘れました。これからは同級生などと語らいの場を多く持ちながら信州の自然を楽しみたいと思っています。

在校生の皆さん 悔いのない充実した高校生活を送って下さい。

母校の益々の発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

フィリピン国際

ボランティア活動

昭和四十八年卒業
現同窓会副会長

西牧 一敏

私はNPO法人国際協力NGOファミリアの代表を務めています。現在の活動はフィリピンの一番大きな

ルソン島のほぼ真ん中にあるパンパンガ州マサントルサントニーノ地区の貧困家庭に食糧支援をして5年になります。フィリピンの人口は約1億人で、平均年齢は23歳。若い人が多い国です。しかし主要産業に乏しく収入が少ないので、多くのフィリピン人は世界中に出稼ぎに行っています。犯罪も多く至る所で検問やガードマンが銃を持って警戒しています。私の活動しているマサントルはマニラの東よりの海岸近くですが、日に何回か水害に見舞われる貧しい地区です。

NGO JAFICはフィ

リピンでの活動名で、スタッフはすべて現地のフィリピン人です。サントニーニョ地区には約200軒の膝まで水没するバラックに暮らしている家族が多く、私のJAFICでは10kgのお米を配布して貧困生活の援助をしています。私は中越地震は新潟の小国町で、東関東大震災では岩手県野田村にて、災害ボランティアをして来ましたが、これからも日本内外を問わず活動を続けていきます。



同窓会広場

若者の政治離れについて



前松本市議会議員
柿澤 潔

梓川高校には昭和四十一年四月に入學、同時に籠球部に入りバスケットボールに情熱を燃やしてきた。

入部の同期は男女合わせて三十四名いたが、最後まで残ったのは男子六名女子三名。

大変苦しい練習の日々であった事は言うまでもない。

それゆえに残った者同士の絆は強く現在まで交流が続いている。

卒業後は高度成長期の中、豊かさを求めて転職もした。

生き方の変化のあるたびに自分はどう生きるべきか苦悩する事も多かったと記憶する。

次女が重度心身障害で生まれた時には、宗教の誘いがあったがきっぱり断り、自分の力で越える事を選んだ。

二十六年間に及んだ介護生活の始まりだった。

地元消防団活動にも情熱を以て取り組んでいた頃の昭和四十七年の浅間山荘事件、続く昭和五十五年の日航機ハイジャック事件により政治に関心を持った。そして、それよりも同じ障害児を持つ方々との交流の中で、

様々な制度に触れたことが政治に意見したいという気持ちにさせた。

二〇〇三年四月、松本市議会議員に初当選、以後二〇年間市民福祉の向上に努めてきた。

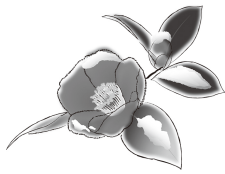
こうして人との触れ合いが多くなってきたと感じたことは、利益誘導と考える事案が多いと思うと共に、なんとかしなければならぬと思う事も多かった。

どのような問題も、制度と予算という壁があり、取り組みを始めたとしても時間が必要である。

いま若者の政治離れが叫ばれていることは悲しいことである。松本市は普通選挙運動発祥の地である。

世界が狭くなってきている現代において、若い方にも地球規模での学びを通じて世界の中の日本の社会はどうあるべきかを考え、同時に自分の将来と地域の姿にも想いを寄せて欲しい。明日を築く若い力を政治にも発揮して欲しい。

国民の義務である選挙には必ず投票に出かけ、自身の考える理想とする国家、理想とする地方都市のために自身の意思を示して欲しいと願っている。



社内同窓会設立の思い出



昭和四十四年卒
長崎 作夫

十月に会社の同僚で同期生の幸子さんから同窓会親睦のマレットゴルフに誘われ暇な私は躊躇なく参加した。大先輩とのプレーそして懇親会と楽しいひと時を過ごすことが出来、御礼申し上げます。

彼女の主目的はこの原稿依頼にあったかと思われる。この頃数字的な記憶が不明確であるため断ってましたが重い筆を執りました。

私たちの学年は昭和四十四年卒業で農業科一組、普通科三組、二百人弱でした。私の組は五十人の大所帯で女子は三分の一程度でした。波田中心の地域学校と思いきや新村より東から通って来る人が四割位居りました。一年生の時は定時制最後の先輩が通学していたように記憶しています。

卒業後は葉卸会社に就職したものの一年数か月で退社、宮地鐵工所に入社、中途採用であったため社内の様子がわからない時、同期の同窓生から声をかけられ嬉しかったです。

私は仕事のほかに労働組合の活動に従事していました。執行役員は色々な職場の人がいて仕事のこと職場のこと等大変勉強になり、職場間の交流も「いい

ものだ」と感じていました。そんなこともあり社内同窓会の設立を考えるようになりました。

昭和五十年代に入ってしまったと思います。私は会長を引き受けて頂けそうな先輩に社内同窓会の設立を相談しました。快い返事を頂き発起人メンバーの選定と規約の立案を済ませ誰が同窓生か確認する作業に入りましたがこれが大変でした。梓農業高等学校以前の方の確認は困難で統合梓川高等学校入学の方からを対象者となりました。

「梓水会」と名付けた社内同窓会設立総会を開催することができました。会員は五十人位いたと思います。私の同期生は男七人女二人いました。総会兼新年会を泊まりで開催するほど定着し多くの方と女性の参加もありました。夜遅くまで語り相撲部で強かった人の紹介や新制高校一期生頃は卒業時に就職が決まらず就職浪人した話等は印象的でした。

高校野球の地区予選が廃止になり初戦から遠征試合となりました。費用が高む事もあり寄付の依頼があり毎年宮地梓水会として数万円を寄付していました。会として唯一の母校との繋がりでした。今は工場閉鎖となり寂しい限りですが思い出はいっぱいあります。

結びに同窓会の発展と会員皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

生徒会長の思い出



創立110周年記念
事業時生徒会長
山口 雄太

私は山形村に生まれ、村内の小学校、中学校を卒業後に梓川高校に入學しました。

高校生活では、生徒会活動に力を注ぎ、生徒会長として文化祭や体育祭などの様々な学校行事や生徒総会や委員会などの生徒会を執り行っていました。その中でも、明治四十三年から令和まで続く歴史ある梓川高校の百十年の節目に、梓川高校創立百十周年を祝う式典を執り行えたことは、私にとって貴重な経験であり、また長きにわたり数多くの人が梓川高校で多くを学び卒業していったことの歴史の深みを知る機会となりました。

活動していく中でほかにも多くのことを学べましたが、それは生徒会長という役目を負うその一歩を踏み出したからであり、なにかに挑戦しようとするチャレンジ精神の大切さを感じました。今後の人生の中でもなにかしらの役として活動できる機会があるかと思っています。そんな時には貴重な経験ができるチャンスと捉え、率先してチャレンジしたいと思いました。

高校卒業後は公務員に就職する希望があったため、大原学園専門学校松本校に入學し、卒業後は地元である山形村役場に就



職しました。
山形村役場では保健福祉課に配属され、福祉係として障がい福祉の関連業務を担当することとなりました。仕事のやりがいを感じつつも、福祉と一口に言っても幅が広く難しく感じることもあり。二年目となりますが、より多くの住民の力となるよう一生懸命頑張りたいと思います。

高校時代の記憶



42年卒
松本市渚3
神戸 啓次

私は高校に入學して、卓球部へ入り数十人が、3年間で数人に減りました。体力作りで絞られて筋肉痛の毎日、夏休みまで打たせてもらえなかった。先輩に足取り手取りフォームを教えてもらい、基礎が身に着きました。

タバコを吸うと息切れをして負けるから絶対にダメだと言われて、現在まで守っています。70歳までは、毎週木金の夜に2つの卓球クラブに入っていました。木曜日だけにしました。

高卒後から、ブランクは少しありますが、今年まで地区代表選手で出ています。

3回の夏休み合宿が、一番の思い出に残っています。校長先生が夜、お説教にきてくれました。

先輩の2人は新人戦で県大会に出場する腕前でした。私は痩せて筋力が無く腹筋はいつもやり直してしたが、ランニングは得意で、100mは14秒0で、200mは28秒9で、3000mはクラスで2番でしたが、200mを走った後で酸欠になり、十数分間は立てなかった記憶が残っています。

毎年秋に強歩大会があり、学校の回りを数十キロを走りました。2年の時に13位になりました。卓球部員は成績が良かった。波田の坂まで20数キロを走って来たら、両モモがケイレンして歩いた思い出が残っています。山形でいただいた柿を一つ食べたら、渋柿でした。和田の家の前にいくつも、リンゴが出てあり、一つ貰って学校に着いたら、先生に「何処から採ってきた」と言われてしまった。その時に食べたリンゴの味の美味しさは忘れられない味です。

音楽のテストは、一人ずつ歌って点数が付きました。先生の温情ある点数を頂き、音楽が好きに成りました。

高3の秋に、ギターリストの阿部保夫さんが演奏に来てくれ10月からNHKのギター教室と一緒にやりましたと言われて、ギターをやりはじめたが、5分で指先が痛くてダメでした。「毎日数分でもやりなさい」と言われてやり、3年で「禁じられた遊び」をやっと弾けました。クラスに上手い男子が居て、と

でも羨ましかった。以後、現在まで継続中です。

ギタークラブの発表コンサートで「禁じられた遊び」と「アルハンブラの思い出」をやった時、最後で間違えてしまい、先生役の方に叱られてしまった。

高校時代が一番体力があり、力を充分に発揮出来る時です。

思い切りやりたい事に取り込める青春時代で、楽しい思い出をたくさん残しましょう。

文化祭の時に美しい人の手をつないだ柔らかな感触が忘れ無いい思い出です。マイムマイムや山のロザリアや木の靴を踊った。卒業式の時に「惜別の歌」を

J先生が朗々と声高らかに歌ってくれたのを忘れられません。

令和5年度 同窓会一般会計予算書

収入 2,417,000円
支出 2,417,000円
差引残金 0円

収入	項目	予算額	備考
1	繰越金	1,560,276	前年度からの繰越
2	入会金	856,000	新会員107名
3	寄附金	0	
4	雑収入	724	預金利息等
計		2,417,000	

支出	項目	予算額	備考
1	会議費	180,000	各種会議費
2	事務費	180,000	費用弁償、消耗品
3	事業費	1,680,000	支える会補助、組織、会報発行他
4	交際費	100,000	交際費
5	積立金	100,000	活動積立
6	予備費	177,000	
計		2,417,000	

令和5年度事業計画

- ◆ 組織強化に向け支援活動の活性化
- ◆ 会報発行
- ◆ 梓川高等学校を支える会への支援活動
- ◆ 親睦マレットゴルフ大会
- ◆ 環境整備作業・強歩大会への協力
- ◆ 会員台帳の整備（新規会員の追加など）
- ◆ 学校との懇談会

令和5年度 同窓会役員名簿 (敬称略)

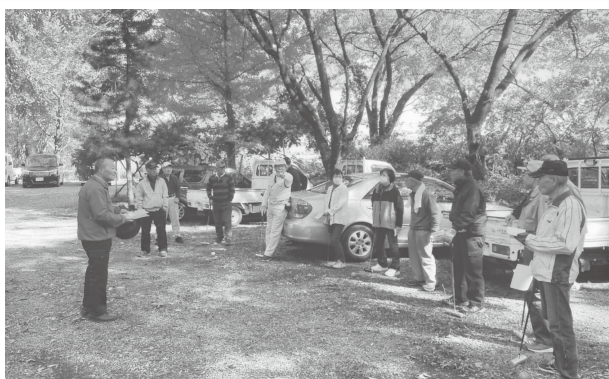
会長	小林 静夫
副会長(事務局)	百瀬 久子
副会長(事務局)	中村 幸子
副会長(会計)	塩原 長利
副会長(事務局補)	牧田 勝明
副会長(会計補)	大月 章
副会長	近藤 佳雄
副会長	森田 治子
副会長	山田 公子
副会長	大月 昇
副会長	百瀬 善明
副会長	和泉 元樹
副会長	塩原 至
副会長	百瀬 良一
副会長	小林 寿充
副会長(兼波田副支部長)	百瀬 健
副会長(兼山形支部長)	西牧 一敏
副会長(兼梓川支部長)	金井 久
副会長(兼安曇支部長)	川上 桂二
副会長(兼和田支部長)	田中 住人
副会長(兼里山辺支部長)	柿澤 潔
監事	二木 勝清
顧問	矢島 平八郎
顧問	波多 腰芳弘
顧問	上村 光広
顧問	小林 昭五
顧問	加藤 忠義
顧問(学校長)	腰原 英徹

同窓会の動き

●支部交流親睦マレットゴルフ大会●



令和5年10月21日、コロナも収束に向かっており、久しぶりに同窓会支部交流親睦マレットゴルフ大会を行いました。当日は天候にも恵まれ会員の方も、親睦と旧交を深めることが出来ました。因みにマレットゴルフ大会の優勝者は波田支部の波多腰芳弘さんでした。次回はもっと沢山の同窓会員の参加をお待ちしています。



●強歩大会におけるお茶の接待と応援●



令和5年10月27日梓川高等学校生徒による恒例の強歩大会が行われました。当日は好天にも恵まれ生徒はベストコンディションで安曇野を走りました。同窓会ではお茶の接待と応援をしました。



3年間の部活動を振り返って

陸上部 三年二組 荒木ななせ

この3年間陸上部に所属し、主にハンマー投げに力を入れてきました。私はこの3年間とても充実した部活動生活を送ることが出来ました。

私は小学生から陸上を始め、中学三年間も競技を続けてきました。高校に入學してから迷わず陸上部に入り、そこでハンマー投げという競技に出会いました。

始めたばかりの頃はハンマーを回すことも難しく、本当に上手くなれるのか不安でした。しかし、毎日部活へ参加し、練習をしていく中で徐々に出来ることが増え、日に日に記録が伸びていく感覚に楽しさを覚え、練習を頑張ることが出来ました。

その結果、一年生の新人戦では人生で初めて大会新記録を更新することや、北信越大舎で2位入賞という結果を残すことが出来ました。

そこから「来年は絶対にインターハイに出場したい」という強い気持ちが生まれ、目標が出来ました。そこから継続した練習を頑張りました。そして、2年生の北信越総体で3位に入賞し、インターハイ出場が決まりました。4位の選手と1センチ差で、ギリギリの入賞でした。あの時は本当に嬉しかったです。

そして2年時のインターハイでは、全国から集まっている他の選手に圧倒されました。たとえ県内で圧倒的だとしても全国という大きな舞台では小さな力でした。インターハイを経験し、自分の力はまだ全国に及ばないレベルだと実感しました。そこから全国で戦うことを意識し常に上を目指して努力してきました。

管理栄養士さんにアドバイス頂き、自分にできる範囲で食事を意識したり、ただハンマーを投げるだけでなく、一つ一つの動作を意識したりしながら練習を積みみました。

腰の怪我が再発し、満足した練習ができずに悔しく、苦しい時期もありました。それでも部活に行き、できることを続けました。

その結果、今年もインターハイ出場を決めることが出来ました。

今年のインターハイは去年の経験から心に余裕を持って試合に挑むことが出来ました。しかし、思い通りの結果を出せず悔しい気持ちもあります。それでも今までの大会の中で1番心に余裕を持ち、楽しんで試合に挑むことが出来た大会でした。今年の目標にしていた長野県高校記録を更新できなかったことは心残りですが、二年連続でインターハイに出



場できたことや3年間継続し、部活動をやり通すことが出来たのは私の誇りです。この3年間はあつという間で、たくさんの経験や学びがありました。中でも、継続することが1番の近道だと身をもって実感しました。色々な方々の支えがあったからこそ頑張ってきた。特に顧問の先生には本当に感謝しきれないほどお世話になりました。今までサポートし、応援して頂いた皆さんの先生方や家族、友人、同窓会の皆様のおかげで3年間部活動をやり通し、成長することが出来ました。本当にありがとうございます。

お知らせ

同窓会報に掲載する詩歌(詩・俳句・短歌・川柳等)や所感等を随時募集しています。

一、応募規定

(一)詩歌(詩・俳句・短歌・川柳等)

一人七点まで

(二)所感等

一人おおむね四〇〇字位

二、送付先

〒三九〇一四〇一

長野県松本市波田一〇〇〇〇一

長野県梓川高校同窓会事務局

TEL 〇二六三九二二二一九

FAX 〇二六三九二二二七

三、その他

送付方法は郵送又はFAX・Eメール等どの方法でも結構です。

同窓会へのご寄附について(お願い)

同窓会活動の推進を図っていくため、会員の皆様からのご寄附を募ります。

同封の振込用紙にて、一口三、〇〇〇円以上のご寄附をお願いします。なお、振込手数料がかかる場合は振込者のご負担でお願いします。

生徒会の活動より

KAWAトーク(梓川高校地域交流会)について

二〇一九年よりKAWAトークという交流会が行われています。目的は「梓川高校の生徒、先生、PTAまた周辺地域の人たちと交流し、親睦を深めるとともに、それぞれの立場がもつ考えや課題それに対するアイデアなどを情報交換し、梓川高校をよりよくするとともに周辺地域のさらなる活性化を目指す」というものです。毎年形を変えながら、生徒会執行部の生徒が中心となり、年に一〜二回継続的に実施されています。今年度は十一月十七日(金)波田中学校を会場に、昨年度に引き続き波田中学校三年生(一四〇人)と梓川高校生徒会執行部(四五名)で交流をしました。第一部は梓川高校三年生による進路体験談の発表、総合的な探求のプレゼンテーション「旧波田町役場と地域活性化について」の発表を、中学生に聞いてもらいました。第二部では「波田を活性化

させる方法とは？」というテーマで、小グループに分かれてグループトークを行いました。昨年度からの内容を発展させ、波田地域の良さをいかにアピールするか、課題をどうやって解決するかについて、アイデアや意見を交換しました。今回出されたアイデアについては、波田のまちづくり協議会に地域の中高生の意見として提出する予定になっています。

出前KAWAトークを振り返って

生徒会長 三年一組 吉川紫音

私は十一月十七日、波田中学校に伺い、出前KAWAトークを行ってきました。昨年に続き二回目の参加でKAWAトークの楽しさを知っていたので、とても楽しかったです。ですが今年は二時間構成で、前半部に地元についてのプレゼンテーションを行うことになっていたので、実際に波田中学校についていた時にはとても緊張していました。

前半部では、進路についての発表、そして旧波田町役場の活用についてのプレゼンテーションを実施しました。目の前に座っている中学生を目の当たりにして心臓は早まりましたが、落ち着いて発表することができたと思います。このプレゼンテーションは波田のまちづくり協議会や高校生の探究発表会でも発表させていただいたものでしたが、今回は発表を聞いてもらう対象が大人ではなく中学生だったため、今までにないような新鮮な気持ちでした。ただ原稿を読むだけでなく、中学生に考えが伝わるように話すのはとても難しかったです。が、終わったあとと中学生がたくさん拍手をしてくださったので、やってよかったなと思いました。後半部では、各クラスに分かれて波田を活性化させる方法について話し合いました。私の班では梓川高校と波田中学校で協力してできることを考えました。高校生は波田出身生徒が少な

梓川高校部活動の様子

現在活動中の部活動

【運動部】

野球部、陸上部、バレーボール部(男・女)、サッカー部、バドミントン部、テニス部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、弓道部、剣道部、卓球部

※すべての運動部が総体、新人戦、各種目選手権予選等に出場。(サッカー部、女子バスケットボール部は現在合同チームで活動)

【文化部】

吹奏楽部、軽音楽部、食物部、美術部、手芸同好会
※各部、同好会が演奏会や作品展、校内での発表に向けて継続的に活動に取り組んでいます。

いため、話し合いが深まるか、そもそも短時間で話し合いができるほど打ち解けることができるのかとても心配でした。しかし、中学生は私たちが思っている以上によく考え、意見を共有してくれました。そのおかげで話し合いも深まり、とてもいい時間になりました。短かったですが、中学生・高校生で波田のことに

貴重で有意義な時間となりました。なかなかない機会です。波田はまだまだ課題のある場所です。それらにぜひ今後KAWAトークなどを行って着目し、地元の学生たちの力で波田がさらに活性化してほしいと心から思います。

 令和 4 (2022) 年度 進学・就職 状況一覧

2023/3/20

〈進路別決定数〉

進路	男	女	計
進学	24	25	49
就職	28	18	46
進路未決定	2	2	4
合計	54	45	99

〈進学の内訳〉

進学	男	女	計
大学	4	4	8
短期大学	2	5	7
技術専門学校・大学校	1	0	1
専門学校	17	16	33
合計	24	25	49

【就職】(縁故等を含む)

就職先	職種	男	女	計
海上自衛隊	曹候補生	1		1
株式会社 デリカ	機械工	1		1
株式会社 デンソーエアクール	技能系(組立、商品加工、検査、物流 等)	3		3
ゴールドバック 株式会社	製造技術職	2		2
株式会社 ユニコン	機械オペレーター		1	1
株式会社 サイクス	治具等の組立、配線	1		1
社会福祉法人サン・ビジョン	介護職	1	2	3
株式会社 カイジョー松本事業所	産業用機械の製造、生産技術、検査、加工		1	1
株式会社 オフィスバパドゥ	ヘアアシスタント・スタイリスト		1	1
株式会社 エイワ穂高工場	食品製造業	1		1
東新工業 株式会社	製造オペレーター職	1		1
株式会社 信州シキシマ	パン菓子製造		1	1
株式会社 石原工務店	現場作業員	1		1
エア・ウォーター・マッハ 株式会社	製造	1		1
株式会社オーケイ	製造作業	1		1
DOWAパワーデバイス 株式会社	総務・人事および一般事務	1		1
TIPcomposite 株式会社	プラスチック製品製造職	1	1	2
株式会社 ENEOSウイング信越支店	トータルカーライフアドバイザー	1		1
社会福祉法人松本ハイランド	介護職	1		1
株式会社 大和	事務職	1		1
富士物流サポート 株式会社	荷役、梱包作業		1	1
ニチコン大野 株式会社 第三工場	アシスタント業務(事務系)	1		1
有限会社 湯元斎藤旅館	フロント係		1	1
株式会社 みすず建設	建設業(解体工事・土木・造成)	1		1
安曇野本多通信工業 株式会社	技能職	1		1
有限会社 ラ・フェネル	エステティシャン		1	1
株式会社 マサムラ	洋菓子の販売	1		1
株式会社 平出精密	製造技術		1	1
株式会社 コスコ	総合職		1	1
ダイナパック株式会社松本事業所	製造 工場内作業	1		1
株式会社 明神館	スチュワード		1	1
セコム上信越株式会社松本支社	セキュリティー事業スタッフ	1		1
合同会社トータルワーク長野	総合職	1		1
陸上自衛隊	自衛官候補生	1		1
ダイナパック株式会社松本事業所	事務 工程計画担当		1	1
株式会社 FRONTIER	衣類及び身の回り品小売		1	1
ミニミニ賃貸バンク	営業		1	1
株式会社 K's電設	電気工事スタッフ	1		1
株式会社 ソーデナガノ	品質管理	1		1
自営業	農業	1		1
合計		28	18	46

【進学】
〈大学〉

進学先	学部	学科	男	女	計
松本大学	総合経営学部	総合経営学科	3	1	4
松本大学	総合経営学部	人間健康学部		1	1
松本看護大学	看護学部	看護学科	1	1	2
創価大学	看護学部	看護学科		1	1
合計			4	4	8

〈短期大学〉

進学先	学科	男	女	計
松本短期大学	介護福祉学科	1	1	2
松本短期大学	幼児保育学科		2	2
信州豊南短期大学	幼児保育学科		1	1
松本大学松商短期大学部	商学科	1		1
佐久大学信州短期大学部	福祉学科		1	1
合計		2	5	7

〈専修・各種学校 その他〉

専門学校等 進学先	男	女	計
上田情報ビジネス専門学校	4		4
エブソン情報科学専門学校	1		1
大原スポーツ公務員専門学校松本校	2		2
上原簿記ビジネス医療福祉専門学校松本校	2		2
松本歯科大学衛生学院専門学校		1	1
松本情報工科専門学校	1		1
松本調理師製菓専門学校	1		1
松本理容美容専門学校		2	2
未来ビジネスカレッジ	2		2
松本技術専門校	1		1
長野平青学園		1	1
長野美術専門学校		1	1
あいち造形デザイン専門学校	1		1
窪田理容美容専門学校		1	1
湘南平塚看護専門学校		1	1
甲府看護専門学校	1		1
東京俳優・映画&放送専門学校		1	1
日本工学院八王子専門学校	1	1	2
ミス・パリ・ビューティー専門学校		1	1
武蔵野調理師専門学校		1	1
横浜歯科医療専門学校		1	1
横浜実践看護専門学校		1	1
大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校甲府校		1	1
国際調理師製菓専門学校		1	1
トヨタ東京自動車大学校	1		1
専門学校ESPエンタテインメント大阪校		1	1
合計	18	16	34

編集
後記

多くの皆様にご協力をいただき、同窓会報を発行することが出来ましたこと、心より感謝申し上げます。今後
も同窓生の皆様には、さらなるご協力をお願い致します。
また住所変更やご意見、事務局へのメッセージ等お寄せください。お待ちしております。